核燃サイクル絶対反対！再処理を止めろ!２０１４年　反核燃　秋の共同行動

むつ行動に集まろう！

核の使用済み燃料中間貯蔵施設になぜ反対するのか！

１　キャスクから漏れることは想定していない？

100 年は大丈夫と説明会でいわれたキャスクです。そのキャスクに守られた核の使用済み燃料はどんな姿になっているのでしょう。本当にキャスクからは絶対に有害物質が漏れないのでしょうか。万が一漏れたらどうするのかと事業者に質問しました。答えは、「漏れることはないが万が一漏れたら、もう一つ蓋をして中身が点検できる施設のある六ヶ所に運び、点検をします。」えっ！有害物質を撒き散らしながら運ばれるの？なぜ中間貯蔵施設に点検できる施設をつくらないのでしょう。答えは、「漏れることは考えていないから。」絶対安全ということは、絶対ないと思うのですが。

２　ＭＯＸ燃料を使うとさらに有害な物質が…。

核の使用済み燃料はリサイクルできるから貯蔵しておくそうです。再処理工場でプルトニウムをとりだしてＭＯＸ燃料を作り、大間原発で使うそうです。世界で初めてＭＯＸ燃料だけで原発を動かすそうです。そこからはどんな有害物質がゴミとして出てくるか・・・恐ろしい！原発から出るゴミよりもっと濃縮されて、キケンなゴミだそうです。

３　最終処分地にされてしまうのでは？

中間貯蔵施設はこれから 50 年間使うそうです。50 年後本当に出て行くのでしょうか？どこへ出て行くのか今のところ誰もわかりません。受け入れると決めた当時の大人達は見届けることは出来ません。中間と言われていますが最終地になりそのまま置かれてしまうのではないかとても心配です。

４　子孫に負の遺産を残してはいけない！

原発に反対していると、「電気を否定するのか？」と聞かれます。電気を否定しているのではありません。日本は原発の開発を優先してきたので自然エネルギー・再生エネルギーの開発が遅れたのではないかと思います。福島の事故以来やっと原発以外のエネルギーの開発が求められてきました。

今、私たちは電気をとても便利に使っています。電気のない生活は考えられません。だからといって、これからも原発を使い続けていけば、今の世代で処理できない原発から出るキケンなゴミの管理をこれから何代もの次世代の人々にお願いしなければなりません。それでいいのでしょうか。子孫に負の遺産を残していいのでしょうか？

自分たちは電気を便利に使い、ゴミのことは知らないでは、子孫に申し訳ないと思います。後始末が出来ないものは作ってはいけないのです。原発を作ってはいけない。核の使用済み燃料中間貯蔵施設はいらないのです。原発のない世界を望みます。

【むつ行動】－集会とデモ

とき　2014 年 10 月 19 日（日）集会 13:00～14:20（受付 12:30～　デモ 14:20～15:00）

ところ　むつ市イベント広場（むつ市柳町一丁目 323-4）

デモコース　むつ市イベント広場～マエダ本店前（予定）

【主催】2014 年反核燃秋の共同行動実行委員会